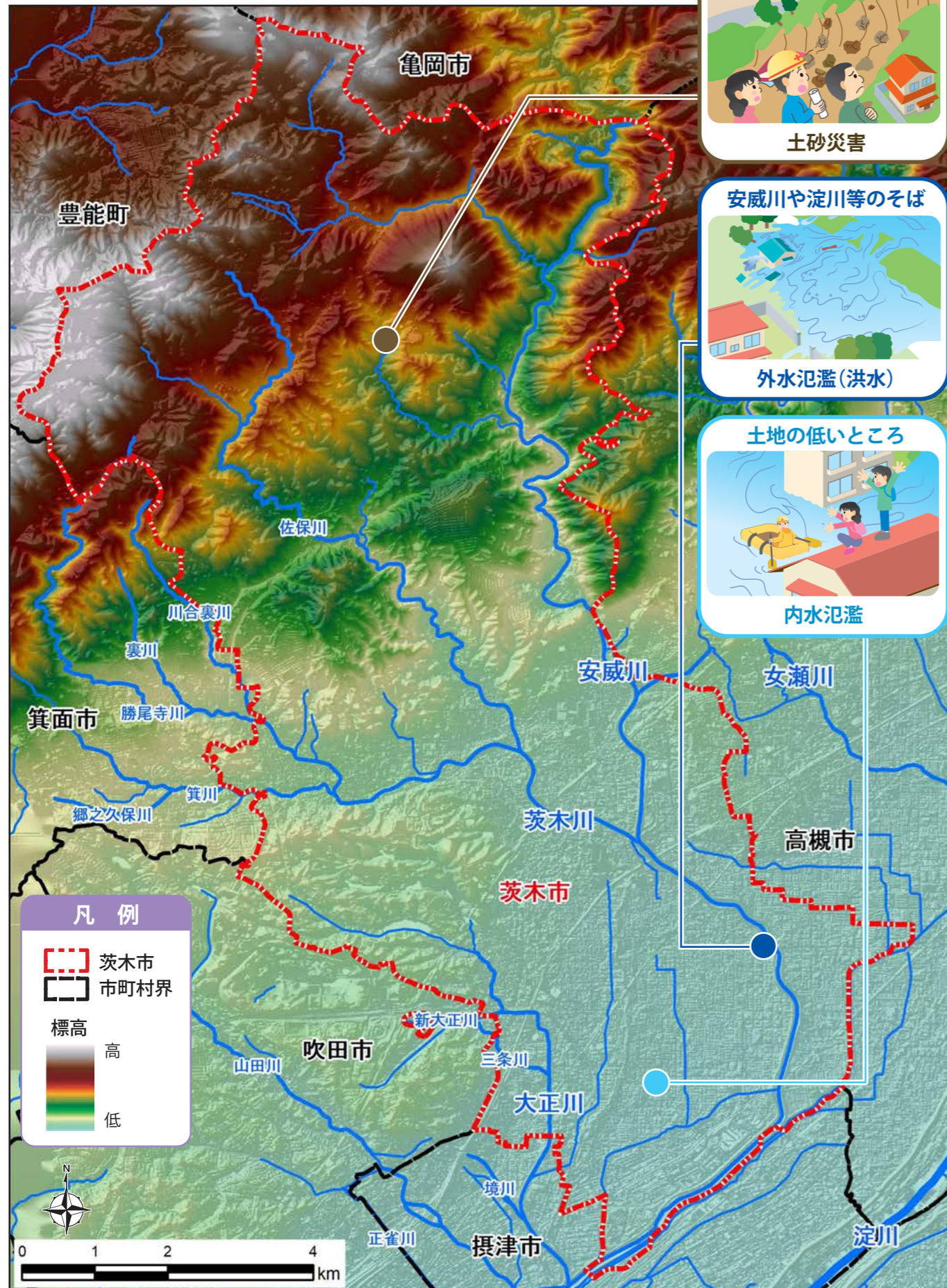


2. 茨木市で想定される水害・土砂災害

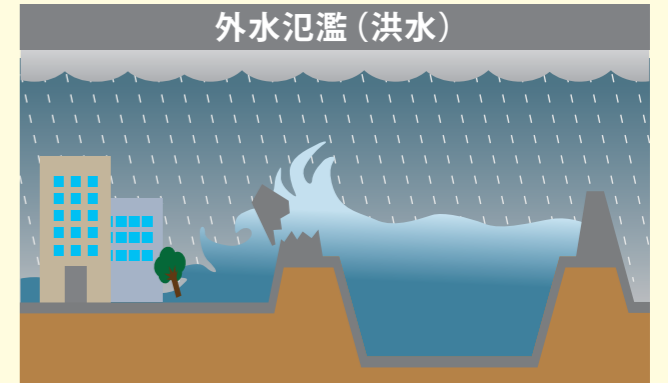
① 水害・土砂災害の発生傾向



② 外水氾濫(洪水)とは？

外水氾濫(洪水)とは、河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤する等して、堤防から水があふれ出すことです。

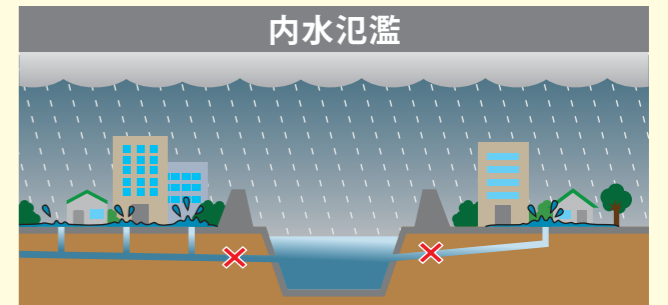
大雨が降り続けると、茨木市内を流れる安威川、茨木川、大正川等のほか、茨木市外を流れる女瀬川や淀川の外水氾濫(洪水)によって、茨木市内に浸水被害が発生する可能性があります。



③ 内水氾濫とは？

内水氾濫とは、堤防から水があふれなくても、河川の水位の上昇や多量の降雨等により、河川外における住宅地等の排水が困難となり浸水することです。

大雨によって、茨木市内の土地の低いところでは、内水氾濫によって浸水被害が発生する可能性があります。



④ 土砂災害とは？

土砂災害とは、山やがけが崩れたり、崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れてきたりすることによって人命が奪われたり、建物を押しつぶしたりする災害のことです。土砂災害は、大きく「急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)」「土石流」「地すべり」の3つに分類することができます。

大雨によって、茨木市内の山地区やがけのそばでは、土砂災害が発生する可能性があります。

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

雨水ががけに沢山しみこむ等して、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。



土石流

大雨等が原因で、山や谷の土・石・砂等が崩れ、水と混じってどろどろになり、一気に流れ出てくる現象です。



地すべり

比較的ゆるい傾きの斜面が、雨や雪解け水がしみこんだ地下水によって、広い範囲にわたってすべり落ちていく現象です。

